

1 情勢報告

1 JA土佐くろしおインゲン部会現地検討会が開催されました（平成21年10月5日）



現地検討会の様子

10月5日、JA土佐くろしおインゲン部会の現地検討会が中土佐町のサヤインゲン栽培ハウスで開催され、19戸27名の部会員が参加しました。

今回は「初期管理」をテーマとして取り上げ、播種後16日目の圃場で現地を確認しながら、振興センターからは、ジベレリン処理や誘引等の初期管理や昨園芸年度に実施したスワルスキーカブリダニの試験報告等を行いました。

これまで、サヤインゲンでは、現地検討会があまり行われていなかったことから、台風の前にもかかわらず、多くの参加があり、追肥の方法などについて意見交換がなされました。

今後も、生育ステージに合わせて、現地検討会を開催していく予定です。

JA津野山管内のショウガ研修会が開催されました（平成21年10月5日）



JA津野山営農センター会議室での研修会の様子

ショウガの収穫時期をひかえて、収穫までの病害虫防除と収穫方法等についてJAと連携して研修会を開催しました（11名参加）。初めて栽培する方がほとんどで、茎の切り方・コンテナへの詰め方・鮮度保持方法等の基本的なことを説明しました。研修会終了後にCSアンケートを実施した結果、指導内容等については、満足度が高いことが分かりました。意見の中には、「個別巡回指導と研修会を定期的にも実施してもらいたい。」という要望がありました。

この時点ではまだ、出荷方法が確立していなかったため、10月21日の目慣らし会までに確定し、JAから再説明することになりました。

茎の切り方やコンテナへの詰め方もわからない等の意見がありましたので、今後目慣らし会において切り方やコンテナへの詰め方等の実演会を実施していきます。また、こうち型集落営農で取り組んでいるほ場では、収量調査を実施する予定です。

第3回JA土佐くろしお連絡会を開催しました（平成21年9月30日）



JA土佐くろしお会議室での連絡会の様子

平成21年5月からJA土佐くろしお営農課と振興センターのくろしお管内の担当で2か月おきに連絡会を開催しています。連絡会では、担当品目の課題進捗状況の把握や情報の共有化に関するを中心とした意見交換を行います。

今回は、振興センターから木質バイオマス関連事業の状況、まとまりのある園芸産地育成事業・農家経営支援およびGAP等の進捗状況、IPMや天敵利用の動きなど8項目について、JAからは担い手協議会、鳥獣害、11月22日開催のJAまつりに関することなどの報告がありました。情報の共有化が早めにとできると概ね好評で、第4回以降も地域課題の協議、情報の共有の場として手継続していきます。

4 ユズの出荷を間近にひかえ出荷目慣らし会を開催しました（平成21年10月22日）



目慣らし会の風景

JA津野山ユズ部会では、JA馬路村への2年目の出荷を目前にし、出荷目慣らし会を開催しました。

予想を上回る70名を超す参加者の中、出荷基準の確認や昨年度の反省点への対応など、実物の果実を展示し目慣らしを行いました。古くからの柑橘産地では当たり前と思える病害虫の被害果や、省力的な収穫方法なども、1年生の産地では新鮮に映り、活発な質疑応答が行われました。

本年から、将来、出荷量が増えることを見込んだJAの出荷受け込み体制づくりにも着手します。

今後も振興センターでは、関係機関と協力しユズの産地作りを進めていきます。

新規就農希望者と就農までの取り組みについて検討しました（平成21年10月6日）



圃場見学

今年度から（須崎市に移住）してこられた就農希望者に対して、ＪＡ土佐くろしおの就農相談窓口担当と品目担当、振興センターとで自宅を訪問し、主な品目の経営モデルの紹介と、来春からＪＡで取り組むアパート方式レンタルハウスの紹介を行いました。その後、地域内の主幹品目（シシトウ等）の圃場見学を行いました。

栽培希望品目については、近隣の農家で研修ができるように、また、「新規就農研修支援事業」の活用については須崎市役所産業課とも検討していくようになりました。

今後も振興センターでは、関係機関と協力し、スムーズな就農ができるように指導助言していきます。

ＪＡ津野山 営農みらい塾運営協議会が開催されました（平成21年10月14日）



営農みらい塾運営協議会の様子

ＪＡ津野山が運営する就農希望者の研修施設「営農みらい塾」の運営協議会が開催されました。

運営協議会では現在、研修を行っている2名（夫婦）の研修状況の報告や「みらい塾」運営上の課題等について検討を行いました。

研修生募集方法や指導体制、研修内容等につき、事務局から現状、課題、見直し案についての説明があり、これらの内容に対し活発に意見が交わされました。

その結果、みらい塾の運営形態を大きく見直し、ＪＡが指導者を雇用し、農協が経営する研修農場のシステムを構築する方向で意見が一致しました。

振興センターでは、今後も新規就農者確保・育成に向け、体制整備等についての支援を行っていきます。

ＪＡ土佐くろしおハウスシシトウ部会でＩＰＭ技術の実証ほが設置されました。



ＩＰＭ実証ほにおける害虫・天敵調査

これまで、須崎地区ではシシトウ栽培における天敵利用に失敗事例が多く、ＩＰＭ技術はあまり普及していませんでした。そこで、22園芸年度には、害虫のハウス内への侵入を極力抑えるため、開口部全てへの防虫ネットの設置を基本とし、新しい天敵「スワルスキーカブリダニ」を中心とした害虫防除体系と、黒枯病、うどんこ病等の病害対策をあわせた、総合的病害虫防除技術の実証ほを設置して検討していくこととなりました。

今後、この実証ほの結果を部会で共有し、防除体型の定着を図っていきます。

2 今後の普及活動の動き

須崎農業振興センター農業改良普及課
(連絡先：0889-42-3255)

時期	タイトル	内容	備考
10月20日	J A土佐くろしおミョウガ部会 現地検討会(まとまりのある 園芸産地育成事業)	今後の栽培管理について	
10月21日	J A土佐くろしおサヤインゲン 部会現地検討会(まとまりの ある園芸産地育成事業)	生態を基にした今後の基本的な栽培 管理について	
10月21日	J A津野山ショウガ研修会	収穫前後の注意点と受け込み・販売 方法について	
10月22日	J A津野山ユズ部会目慣らし 会	11月4日の第1回受け込みに向けた 調整	
10月22日	津野町経営サポートの会	3、5年目の認定農業者に対するフォ -アップの方法・内容について打合せ	
10月26日	耕作放棄地対策についての 意見交換会	津野町における耕作放棄地対策につ いて農業委員会との意見交換会	
10月27日	浦ノ内地区丸浦出荷組合勉 強会	ポンカン等の今後の栽培管理につ いて	
11月5日	J A土佐くろしおイチゴ部会 定例会	今後の栽培管理について	
11月5日	J A土佐くろしおミョウガ部会 現地検討会	今後の栽培管理について	
11月6日	J A土佐くろしお花き部会と 市場の意見交換会	年末の出荷状況等について情報共有	
11月10日	J A津野山ナス部会ISO内部 監査	取り組み状況の確認、点検	
11月13日	J A土佐くろしおミョウガ部会 決算総会	平成21園芸年度の活動実績と22園 芸年度の活動計画について 点検シート(その1)の回収	